

## 総合特区の指定申請について

総合特別区域法により、地域の包括的・戦略的なチャレンジを、規制の特例措置や税制・財政・金融上の支援を用い総合的な政策パッケージで実施する「総合特区制度」が創設された。

県では、県内の製造品出荷額の約半分を占め、地区内251社に約2.5万人が従事するなど、本県産業の中核である水島コンビナートについて、この制度を活用し、持続的に発展させ、本県の活力維持と雇用の確保を図ることを目的に、地域活性化総合特区の指定を申請する予定である。

### 1 総合特区の概要

#### (1) 名称

ハイパー&グリーンイノベーション水島コンビナート総合特区

#### (2) 目標

アジア有数の競争力を持つ「モデルコンビナート」を実現することにより、本県及び我が国の持続的な成長と県内での良質な雇用確保を図る。

#### (3) 課題と戦略

##### 戦略1 パーチャル・ワン・カンパニーの実現

課題：高効率・省資源型コンビナートの構築

戦略：コンパクトな企業集積を生かした高度な企業間連携による高効率・省資源型コンビナートの構築

- ・ユーティリティ設備共同化によるエネルギーコスト等削減、CO<sub>2</sub>削減、省エネ化
- ・オフガス（副生ガス）、水素を融通するパイプライン整備による燃料最適化等

支援：共同化施設やパイプライン等の整備促進のための財政支援、規制緩和

##### 戦略2 水島港ハイパーロジスティックス港湾戦略

課題：水島港の物流機能強化

戦略：水島港が持つポテンシャルを最大限活用可能にする環境整備

- ・国際バルク戦略港湾（穀物・鉄鉱石）の選定により国の集中投資が見込まれる水島港の輸送効率の改善

支援：水島港の利便性を向上させるための規制緩和

##### 戦略3 グリーンイノベーションコンビナート戦略

課題：コンビナートの持続的発展

戦略：成長産業の国内重要製造拠点（マザー工場）化

- ・研究開発拠点から実証設備、量産設備に到る一体的な立地により、世界的な成長市場である環境・エネルギー分野における高機能・高付加価値製品の国内供給拠点を形成

支援：競争力ある事業環境構築のための規制緩和等

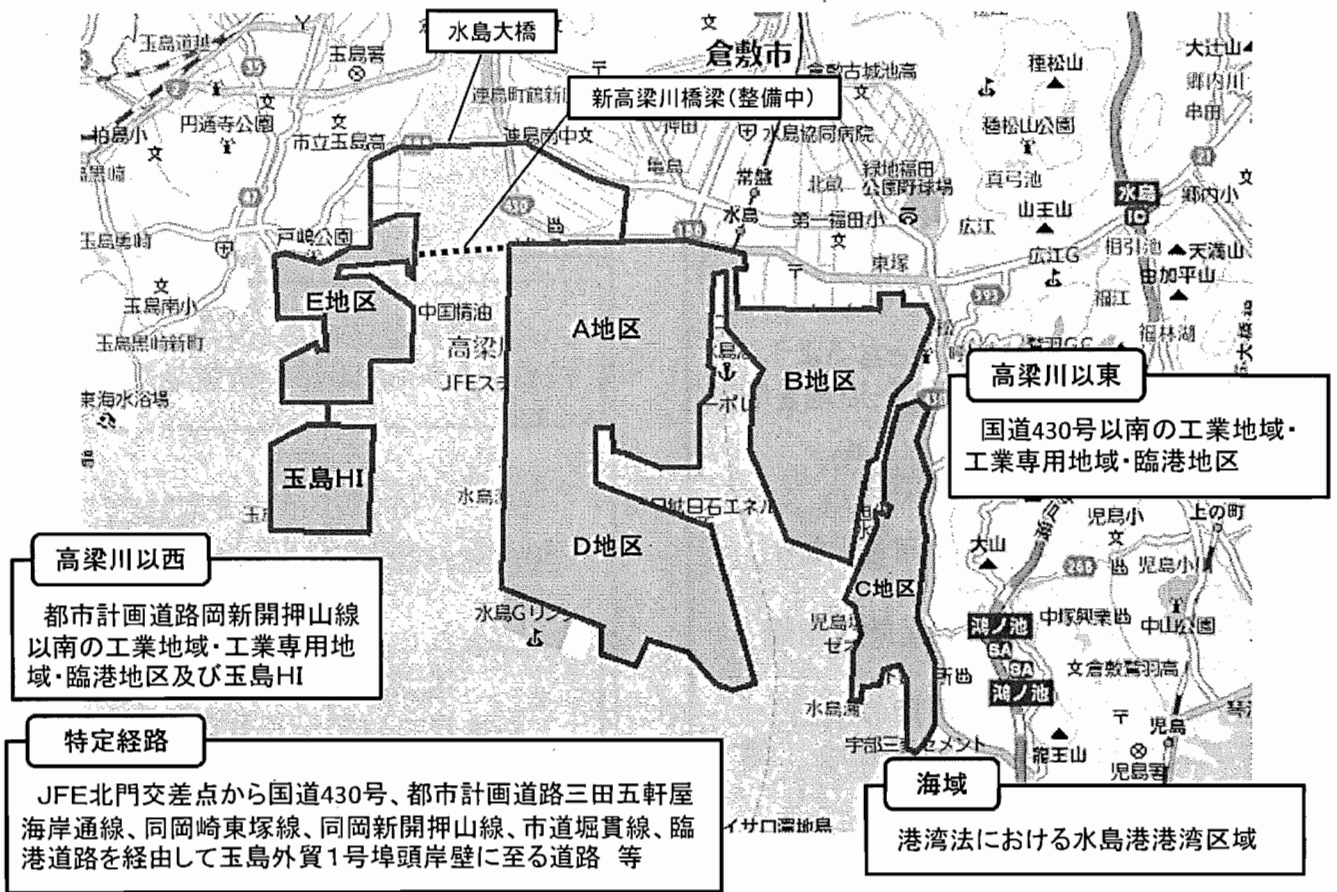
#### (4) 水島コンビナート発展推進協議会

平成23年6月に水島立地企業8社、県・市等で特区の推進母体となる協議会を設立。

### 2 今後のスケジュール

平成23年9月30日	申請期限
10月～11月	有識者による客観評価・選定
12月頃	総合特区の指定

# 総合特区の区域



## 戦略1 バーチャル・ワン・カンパニーの実現

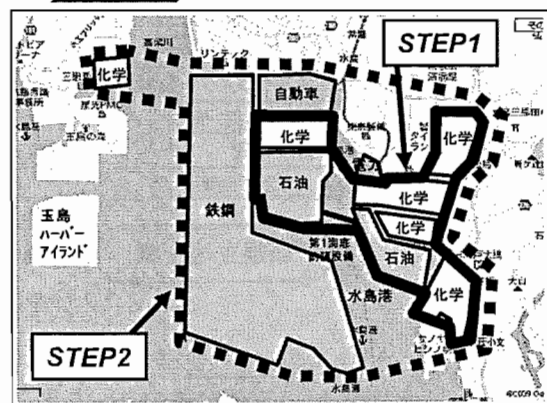
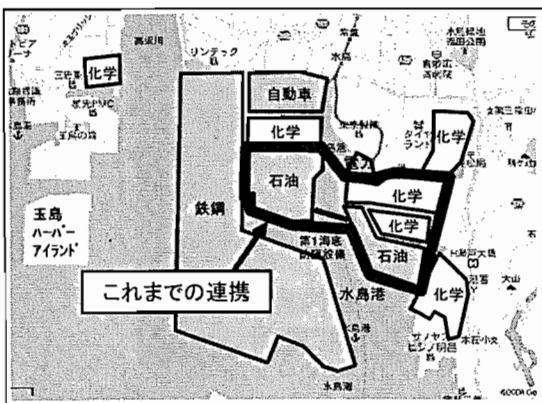
- 企業間でのエネルギーの融通・共有化を図るインフラ整備やその運用を効率的に実施し、燃料等のユーティリティコストの削減、省エネ、CO2削減を図る。
- オフガスや水素を融通するパイプライン整備による燃料最適化等を図り、高効率・省資源型生産システムを構築する。

### 現状

石油・化学を中心とした連携

### バーチャル・ワン・カンパニー実現

- STEP1** 石油・化学 連携企業拡大
- STEP2** 鉄鋼・電力・自動車・石油・化学



- ▶コンビナート・ルネサンス事業
  - ・第1海底パイプライン防護設備設置
  - ・原料、ユーティリティ、エネルギー融通
- ▶コンビナート連携石油安定供給対策事業
  - ・第2海底パイプライン防護設備を実施中。
- ▶連携強化・統合
  - ・石油会社2社の統合
  - ・化学2社によるエチレンセンター一体運営

	STEP1	STEP2
取組Ⅰ ユーティリティ 共同化	第1段階 個別最適化 (1~4年後)	第2段階 地区最適化 (2~5年後)
取組Ⅱ オフガス・水素 ハイウェイ	石油・化学 連携 (1~4年後)	+鉄鋼・電力・ 自動車 連携 (5年後~)
	全地区最適化 (6年後~)	

# 戦略2 水島港ハイパーロジスティックス港湾戦略

国際バルク戦略港湾として穀物と鉄鉱石の2品目で指定を受けた我が国唯一の水島港は、今後、国の集中投資が見込まれ、さらに規制緩和を行うことにより、水島港のポテンシャルを最大限活用可能にする環境を整備する。

## 水島港

高いポテンシャルを有する港湾

平成23年5月  
国際バルク戦略港湾（穀物・鉄鉱石）  
に選定（2品目の選定は国内唯一）

・大型船舶の入出港が可能となるよう  
国の集中投資によって航路・泊地を増深



- ・最大級の船舶の入港が可能となり、  
物流コストが低減
- ・水島港背後に立地する産業の国際  
競争力の強化
- ・地元経済の活性化や雇用の創出、  
水島港周辺への新規企業立地 等



バルク関係船舶のみならず、水島港を  
利用する多くの船舶の輸送効率の改善



規制緩和



港湾物流の面から  
水島コンビナートを支援

# 戦略3 グリーンイノベーションコンビナート戦略

- 現在の集積を生かして、環境・エネルギー分野のマザー工場化を図ることにより、日本の成長を支える高機能なエコ関連素材～製品の供給基地化を目指す。
- おかもやま電池関連技術研究会など地域の産学官による取組と連携し、県内企業と相乗的な成長を図る。

地域産学官との連携

- ◆岡山県グリーンイノベーションプロジェクト
  - グリーンバイオプロジェクト  
セルロースナノファイバー、バイオマスプラスチック 等
  - 次世代自動車産業クラスター形成プロジェクト  
EV関連部品、軽量化部材 等
  - 電池関連産業創出事業  
ガスバリアーフィルム、熱電変換素子 等

エコ関連製品の供給基地

- 燃料電池 & 素材
- 有機EL & 素材
- LED & 素材
- 次世代自動車 & 素材
- 液晶 & 素材
- Liイオン電池 & 素材
- 太陽電池 & 素材

新規立地企業

新規立地 企業

企業誘致策  
(規制緩和、財政支援、  
税制支援等)

国、県、市

立地企業の  
実証プラント・製造拠点

設備投資 企業

投資促進策  
(規制緩和、財政支援、  
税制支援等)

国、県、市



電気自動車 蓄熱材  
高張力鋼板 軽量樹脂等



液晶  
偏光フィルム 液晶ホリマー 等



Liイオン電池 セパレーター  
正極材 負極材 電解液 等

太陽電池  
封止材 シリコン 等

水島コンビナート = 西日本一の素材供給基地

# 総合特区構想の役割分担

< 取組内容 >

< 実施主体 >

< 支援策 >

## ◆バーチャル・ワン・カンパニーの実現

戦略1

高度な企業間連携による高効率・省資源型コンビナートの構築

ユーティリティ共同化  
施設整備

オフガスハイウェイ、  
水素ハイウェイ整備

企業

- ・ガス事業法の特定供給要件の緩和
- ・電気事業法の特定供給許可要件の緩和
- ・移送取扱所の配管基準の緩和(消防法)
- ・省エネ法、温対法における省エネ効果等の適正配分
- ・連携事業によるレイアウト規制の緩和(石炭法)
- ・配管系変更工事の許可制度緩和等(高圧ガス保安法)
- ・施設整備に対する財政支援、税制優遇

## ◆水島港ハイパーロジスティクス港湾戦略

戦略2

水島港が持つポテンシャルを最大限活用可能にする環境整備

国際バルク戦略港湾に  
選定された水島港の  
輸送効率の改善

行政

- ・錨泊地の利用基準の緩和(関税法等)
- ・とん税法等の非課税要件の緩和(とん税法等)

## ◆グリーンイノベーションコンビナート戦略

戦略3

成長産業の国内重要製造拠点  
(マザー工場)化

環境・エネルギー分野  
における高機能・高付  
加価値製品の国内  
供給拠点の形成  
(玉島HIへの誘致等)

行政

- ・土地の形質変更に係る土壤調査要件緩和(土壤汚染対策法)
- ・レイアウト規制の地方公共団体への権限移譲(石炭法)
- ・特定経路における車両重量規制緩和(道路法)
- ・特定経路での臨時ナンバープレート取付免除(道路運送車両法)
- ・設備投資等に対する法人税の特別償却
- ・立地促進補助金等の交付(県・市)

高付加価値製品  
への展開

企業

- ・実証プラント等の施設整備に対する財政支援、税制優遇